

市民活動情報

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

ボランティア活動

ボランティアの力をNPOの組織運営に活用する！

ボランティア活動とは!?

「ボランティア活動を体験して良かったの」という質問に対し、多くの人が「友人・仲間ができた」「生きがいを得た」「活動が楽しかった」「自己啓発」「知識習得」など、自分のためになったという回答を寄せています。「感謝された」「人助けができた」「社会貢献」などという回答も多いのですが、それだけに留まるものではありません。

今までは、ともすると「慈善」「奉仕」「自己犠牲」というイメージが強かったように思えるボランティア活動ですが、「自分を犠牲にして一方的に何か与える行為」ではなく、「双方向の行為」「活動を通し、お金には換算できない様々な報酬—出会い、生きがい、感動、達成感や充足感などをもらい、様々なことを学ぶ場」なのです。

ボランティア活動はあらゆる年代層にとって豊かな人生を過ごすための有用な選択肢になる可能性を持っています。

いろいろなボランティア活動がある

最近のボランティア活動は実に多様です。たとえば「遊びのボランティア」。子ども・高齢者・障害をもった人と「一緒に何かを楽しむ」ことで自分と自分以外の人の生活の質を高め、異世代間交流の場を生み出しています。あるいは「傾聴ボランティア」。子どもや高齢者、問題を抱える人の話に「耳を傾ける」ことで、互いのコミュニケーションを深め、心のケア効果を生み出しています。

ボランティア活動を長く継続している人、楽しんでいる人に共通しているのは、自分の好きなこと、得意

なことを活かす活動を選んでいることです。文化施設のボランティアの中にはその施設が好きで、活動を継続している人もいます。活動への関わり方も様々で、単発的な参加から定期的・継続的な参加まで、自分のライフスタイルに合わせ、自分のできることでボランティア活動に参加している人が増えています。ボランティア活動は誰にでもできるのです。

ボランティアの持つ力を活かすために!

NPO（市民活動団体）は、「社会参加したい」「『思い』や『夢』を実現したい」というボランティアに活動の場を提供することが出来ます。そして、NPOにとってボランティアは、活動をする上で重要な人的資源であり、ボランティアの力を組織運営にどう活かしていくかはNPOにとって重要事項といえるでしょう。

しかし、ただ漠然とボランティアを受け入れていては、せっかくの力を生かしきれずに終わってしまいます。ボランティアを受け入れる前に「受け入れる準備」が必要なのです。ボランティアを受け入れる体制を整えることを「ボランティア・マネジメント」といいます。

「ボランティア・マネジメント」を行うことによって、NPOはボランティアに活動の趣旨を理解してもらうことができますし、計画をスムーズに進めやすくなります。ボランティアは、その活動に参加する意義や役割を正確に知ることになり、「何がしたいのか」「何が出来るのか」を考えるきっかけとなります。



「ボランティア・マネジメント」を始めてみよう

ボランティアの不満は「やるべき仕事がきちんと決められていなくて、何をしたら良いのかわからなかった」「自分が期待していた活動と求められた仕事が違って」「自分のした仕事がどのように役に立ったのかわからない」「感謝の言葉がなかった」「一人ぼっちでつまらなかった」などがよく耳にする例です。これらの問題は、ボランティア・マネジメントを実践することで大半は回避することができます。まず、ボランティア向けに「活動内容紹介シート」、団体スタッフ向けに「ボランティア・プログラム」を作成してみましょう。

活動内容紹介シート (ボランティア用)

- ① 活動名
- ② 活動の目的
- ③ 具体的な活動内容
- ④ 活動に求められるボランティアの条件、資質、技術、知識等
- ⑤ 活動することによってボランティアが得られるメリット
- ⑥ 所要時間（日時、曜日、頻度、時間帯）
- ⑦ 活動の場所
- ⑧ 団体の担当者名（欠席連絡、質問受付など）
- ⑨ 団体の全体的な責任者名
- ⑩ ボランティアが負担する費用
- ⑪ ボランティアに伝えたい留意点

ボランティア・プログラム (団体スタッフ用)

- ① 活動名
- ② 目的・目標
- ③ 活動内容
- ④ 必要なボランティアの資質、技術、知識、人数
- ⑤ ボランティアを受け入れるメリット
- ⑥ 活動時間（日時、曜日、頻度、時間帯）
- ⑦ 活動の場所
- ⑧ 担当者及び全体的な責任者
- ⑨ 募集・広報方法
- ⑩ 受け付け・面接方法
- ⑪ オリエンテーション・研修の方法
- ⑫ ボランティアへの謝意の方法
- ⑬ 評価の方法（ボランティア、団体双方）
- ⑭ 活動にかかるコスト（実費弁償の負担、保険代他）
- ⑮ アクシデントへの対応方法と担当者、ボランティアに伝えたい留意点



- ◆事前に、団体の目的・事業・活動内容を、きちんと伝えましょう。活動に研修が必要な場合は、研修を準備します。「活動の手引き」などを用意すると良いでしょう。
- ◆初めて参加するボランティアが孤立しないように配慮しましょう。また、ボランティアの抱える問題に耳を傾け、相談にのることも活動を支えるポイントとなります。
- ◆「反省会」ではなく「プログラムを評価する」ことは、活動を改善していくために重要です。ボランティア、スタッフ、サービスの利用者にアンケートを行うなどし、良かった点・改善すべき点をきちんと評価して次回につなげましょう。
- ◆ボランティアには十分に謝意を表しましょう。ボラ

ンティアに「参加してよかった」という気持ちになってもらえることが大切です。

- ◆起こりうるリスクをあらかじめ想定し、どう対処するかあらかじめ準備しておきます。リスクの内容によってはボランティア保険の加入も検討しましょう。

シートの内容についてスタッフが話し合うことで、組織の課題・ニーズ、ボランティアに対する考え方を統一することにも繋がります。

ポイントは、簡単で良いので必ず文章化することです。出来るところから始め、自分たちの組織にあった体制を整えていくと良いと思います。「ボランティア・マネジメント」を行うことで、NPOとボランティアの絆が深まり、活動がより一層広がると良いですね。

参考文献

自治体・公共施設のためのボランティア協働マニュアル
(早瀬昇、鹿妻ふみ子編著 社会福祉法人大阪ボランティア協会発行)

情報スクラブル

ボランティア情報の集め方

ボランティア活動したいけれど、どうしたら良いのかな？どんなボランティア活動があるのかな？という方は、まずは当センターへご相談ください。また、お近くの社会福祉協議会でも福祉ボランティア等の情報を知ることが出来ます。

札幌圏にお住まいの方は北海道新聞毎週金曜日の朝刊に掲載中の「善意ボランティア」コーナーや、NPO法人ボラナビ倶楽部が発行する「月刊ボラナビ」などで、旬なボランティア情報を得ることが出来ます。また、旭川市内・旭川近郊にお住まいの方は、NPO法人旭川NPOサポートセンター発行の「ねこの手ナビ」をご参考にしてください。

あなたの身近でも、さまざまな団体がボランティアの力を必要としています。ぜひ、あなたにとって魅力的なボランティア活動を見つけてください。

ちょっとボランティア

ボランティアに興味があるけど時間がない、大きく関われないけど少しだけ、という方。生活の中のちょっとしたことで、ボランティアをすることが出来ます。こんな身近なボランティアはいかがでしょうか。

- 「書き損じハガキ」や「プリペイドカード」「カレンダー」「不要なCDや書籍」などを寄付する。
- フェアトレードの商品を購入する。

〔フェアトレード（公正な貿易）とは、生産者と消費者が対等な関係となることをめざして、適正な価格で商品取引をし、継続することで発展途上国の経済的自立を支えることをねらいにしています。買い物を通じた身近な国際協力のかたちです。〕

- 献血をする。
- などいろいろあります。

おすすめ BOOKS

ボランティア活動とボランティア・マネジメントに関する、おすすめの書籍をご紹介します。こちらの書籍は、当センターで貸し出しをしております。この他にも、ボランティア活動やボランティア・マネジメントに関する書籍を多数取り揃えていますので、ご利用ください。

『ボランティア もうひとつの情報社会』

（金子郁容著 岩波新書）

内容：国内外のボランティア活動の事例を紹介しながら、「誰もが負うことなく参加できるボランティアとは何か？」というボランティア活動の本質にせまっている本です。また、企業の社会貢献についてもふれています。

定価：620円

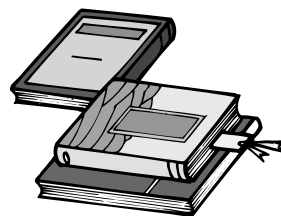
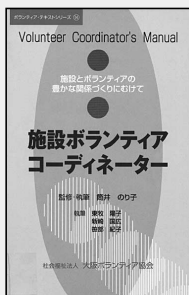


『施設ボランティアコーディネーター』

（監修・執筆 筒井のり子 社会福祉法人 大阪ボランティア協会発行）

内容：福祉施設、文化施設などにおけるボランティア・マネジメント（コーディネート）の役割と仕事の内容について、理論と事例をより実践的にまとめ、解説しています。

定価：1,260円



郵便はがき

50円切手
をお貼り
ください

0 6 0 0 0 0 3

札幌市中央区北3条西7丁目
道庁別館西棟1階

北海道立市民活動促進センター 行

お名前 _____

団体名 _____

住所 _____

TEL. _____ FAX. _____

E-mail _____

（お寄せいただいた情報は情報誌「市民活動情報」の他ホームページなどで随時紹介します）

*「市民活動情報」は奇数月に発行します。
* 次回の発行は9月下旬です。8月中旬までに情報をお寄せください。

センターインフォメーション

【事業案内】

●ボランティア活動の助成●

(財)北海道地域活動振興協会では、今年度もボランティア活動に助成を行います。

実施要綱・申請書は、下記ホームページからダウンロードできます。

助成金額：1件あたり 3万円を上限

対象団体：自主的なボランティア活動を1年以上継続して実践している団体

助成団体数：札幌市……………25団体
 道央圏……………60団体
 道南圏……………24団体
 十勝圏……………20団体
 釧路・根室圏……………19団体
 道北圏……………32団体
 オホーツク圏……………20団体

応募期限：平成17年8月10日(水) (当日消印有効)

問い合わせ先

財団法人 北海道地域活動振興協会

TEL：011-261-0803 FAX：011-251-6789

URL：http://www.fureaizaidan.or.jp/index.html

●2005市民活動団体スタッフ養成講座

NPO・NGOスタッフトレーニングin帯広●

市民活動団体のスタッフとして活動することを希望する市民を対象に、NPO、NGOの取り組みや運営についての知識と実践的な能力の習得を図ることをねらいに帯広市で開催します。

開催日：10月15日(出)～12月10日(出) (全15回)

対象者：市民活動団体のスタッフとして活動している方
 市民活動団体のスタッフとして活動していきたい方
 NPO法人など市民活動団体の設立を考えている方など

プログラム (予定)

	各部概要	講座テーマ
第1部	NPO・NGOの概要や社会的意義、活動内容、行政・企業との協働などについて、実際に活動している団体の事例を通して学びます。	オリエンテーション
		NPO・NGO概論
		NPO・NGOの事例紹介①
		NPO・NGOの事例紹介②
第2部	自分たちで設定した調査テーマに基づいて、地域で活動するNPO・NGOへの聞き取り調査をするともに、ボランティア実習を行い、活動の実際を体験します。	実習オリエンテーション
		実習
		調査のまとめ
		実習発表会への準備 実習発表会
第3部	NPO・NGOの運営に必要なプランニングや実務について、参加型学習(ワークショップ)や講義・演習によって学びます。	組織の目的を決める
		活動計画を組み立てる
		会計と資金調達
		広報、組織の運営 全体のふりかえりとまとめ

定員：30名

受講料：無料

募集は、8月開始予定です。

※ 詳しくは、当センターホームページまたは、直接お問い合わせ下さい。

その他の講座、フォーラムについては、開催日、会場が決定しだい、順次当センターホームページ等でお知らせ致します。

編集後記

ボランティア活動に参加する人が増え、その力を活かすNPOの力量がアップし社会全体が良い方向に変わっていくといいなあ、そんな思いで今月号の特集を編集しました。お役に立つと幸いです。(い)

情報送付ハガキ

掲載希望の情報 ・タイトル	
種別(○で囲む)	・イベント ・勉強会 ・その他()
日時	月 日() 午前・午後 : ~ :
簡単な内容	
場所	
参加要件	参加料(円)
その他	

※FAX・Eメールでも情報を受け付けています。

●ご意見・今後取り上げてほしいテーマ等をお書きください。
